

2023 年度事業報告

1. はじめに

2014 年に日本が国連の障害者権利条約を批准して以来、今年 1 月で 10 年になりました。この間、障害者差別解消法の制定をはじめ、各種の障害者施策の進展があり、条約が私たちを取り巻く社会環境の改善に大きな力となっていることを日々実感しています。協会活動は 2020 年 1 月の中野区での「第 33 回東京都中途失聴・難聴者の集い」以降、新型コロナウイルス感染拡大への対応に追われ、対面での行事開催が難しい状況が続いていました。ようやく 2023 年 5 月に感染法上の位置づけが「五類」に移行し、2024 年 1 月に八王子市に於いて「第 35 回東京都中途失聴・難聴者の集い」を対面のみで開催でき、皆さんの元気な笑顔が溢れました。また、理事会、専門委員会、専門部、サークルの活動や各種の講座・講習会も換気等に気をつけながらではありますが、関係者の努力でほぼ以前の形を取り戻してきました。改めてご支援・ご協力いただきました皆さまにお礼を申し上げます。

協会は 2023 年度も聴覚障害者の社会参加の推進、福祉の向上を目指して、東京都福祉局との予算懇談会や都議会各会派との予算ヒアリングを実施し、東京都の情報アクセシビリティ施策への対策、要約筆記者派遣事業の拡充、中途失聴・難聴者のコミュニケーション学習の充実などを求めて活動しました。以下、2023 年度の協会の活動を、「協会の対外活動」、「協会の対内活動と組織強化」に分けて事業報告の「はじめに」とさせていただきます。

2. 協会の対外活動

2022 年 5 月に「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」が成立しました。多様なコミュニケーション手段を持つ中途失聴・難聴者にとっても、それぞれに適した補聴手段、ICT の活用などが図れるよう、情報アクセシビリティの環境向上につながることを期待され、国の動向が注目されていますが、まだ地域での具体的な施策との結びつきが不十分です。

2023 年 1 月、協会では都議会各政党に対し、東京都内の聞こえに困難を抱える人の補聴器購入を補助するための施策を要望しましたが、残念ながら実現しませんでした。その後も各地域の中途失聴・難聴者団体と協働し、区市町村の補聴器購入補助の実現と、それを後押しする東京都の施策充実を求めて活動してきました。東京都は区市町村で身体障害者手帳を持たない高齢難聴者に補聴器助成を可能とし、高齢者の健康・社会参加を促進することを目的として 2024 年度から「東京都高齢者聞こえのコミュニケーション支援事業」を実施することを決めました。従来の施策と異なり、補聴器助成が明確に制度化されています。ただし、高齢者が対象であり、18 歳以上で手帳を持たない難聴者には助成がない地域がほとんどのため、引き続き聞こえにくさを抱える全ての難聴者に助成が可能となるよう、取り組みが必要です。

このように権利条約批准以降、私たちを取り巻く周りにはフォローの風が吹いています。しかし、従来からの課題である東京都の意思疎通支援事業は、利用目的の公益性・広域性の要件が依然として維持されており、障害者団体の利用が制限され、協会の理事会や専門部の役員会などが利用の対象外となるなど協会活動を制約している状況は改善されていません。「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」は情報の個別性・同時性・地域格差の解消を基本理念に挙げています。協会は、この理念に沿った東京都の意思疎通支援者派遣事業の見直しを強く東京都に求めていきたいと考えます。

一方、コミュニケーション学習においては東京都主催の中途失聴・難聴者手話講習会、読話講習会、協会主催の中途失聴・難聴者手話講習会応用クラスや実践読話講習会などが対面で実施されましたが、コロナ禍の影響で、講習会での学習を通じた受講生同士の交流、協会活動への参加が以前のように戻っておらず、受講生の社会参加や自立の支援で課題が残っています。

また、2023 年は各区市での手話言語条例の施行、聴覚障害者が活躍するドラマのヒットなど、聴覚障害への関心が高まりましたが、中途失聴・難聴者への理解はまだまだ深まっているとはいええない状況です。中途失聴・難聴者の困難さを周囲や社会に伝えていくことは私たち協会の大きな役割ですが、その活動の柱となる「耳マーク」普及については、東京都の交通機関で「耳マーク」掲示の進展やコンビニでの「耳マーク」の紹介などの試みがある一方、都庁・各区市町村施設での「耳マーク」の普及は依然として不十分な状況

が続いています。「耳マーク」は聴覚障害への理解を求め、福祉のまちづくりを進める非常に大切なツールです。聞こえの環境整備を福祉のまちづくりの大きな動きにしていくために、「耳マーク」と「ヒアリンググループマーク」を一体とした普及活動をさらに継続する必要があると考えます。

■ 3. 協会の対内活動と組織強化

3. 1 対内活動と組織強化

協会は2023年5月に役員改選を行い、役員研修などを通じて協会活動に対する役員の理解を深め、理事会のもとに4つの専門委員会と9つの専門部を設けて活動しています。2023年度は、コロナ禍の懸念が残る中、1月に「第35回東京都中途失聴・難聴者の集い」を開催しました。また、「地域難聴者コミュニケーション啓発講座」や「高齢難聴者生きがい講座」の開催を継続することができ、毎年実施してきたこれらの企画が、中途失聴・難聴者の交流を重ねる「場」として非常に重要なものであることを再認識する一年でした。この成果を踏まえ、2024年度もこれらの企画が充実した形で実施することができるよう準備を進めて参ります。

一方、協会の組織面では、協会の2023年度末の正会員の数が前年比8人増の492人となりました。とはいえここ数年会員数の減少傾向が問題になっており、予断は許されません。減少の直接の理由としてはコロナ禍で講座・講習会受講生への入会働きかけが難しかったこと、地域の中途失聴・難聴者団体・関係団体との交流が停滞していたことがあります。他にも協会活動の社会的な発信が十分でないことなど様々な要因が考えられます。会員の大幅減少は協会の財政への影響にとどまらず、青年部の休部や実年部の部長不在など協会の活動にも深刻な影響をもたらしています。会員減少への対策を、2024年度の協会活動の最重要課題として取り組んで参ります。

また2023年度は一般社団法人東京馬主協会様の施設整備等助成金を受けて、協会のヒアリンググループ受信器を新しいものに替えることができました。難聴者の補聴援助に有効な備品ですので、協会行事や学習会等での活用を図っていきたいと思います。

3. 2 協会財政

決算報告にあるとおり、2023年度は855千円の赤字決算となりました。当初予算は1,217千円の赤字でしたが、2023年度の決算では、一般寄付金が約4,600千円となり、皆さまに様々な形でご協力いただけたことが赤字幅を縮小できた要因となっています。協会財政安定のために「変動費(事業費)は事業収入や補助金収入・助成金収入を充当することを原則とし、固定費は会費収入、寄付金収入、雑収入を充当する」必要性に変化はなく、財政面からも前述のように会員の増加が2024年度の協会の最大の課題と考えます。

■ 4. まとめ

冒頭記述しましたように、2023年度も協会はコロナ禍の影響から脱し切れておらず、会員の皆さまと対面で交流する機会を設けても、以前のように参加者が戻っていない状況があります。安心して対面で交流したり、コミュニケーション学習することを期待する会員の皆さまのご希望に十分応えきれておらず、このことが会員数の減少にみられるように、協会の存在意義を問われる状態が続いております。理事会や専門委員会・専門部では対面・オンライン等での活動実績を積み上げながら、会報「協会ニュース」や協会ホームページ等を通じて協会活動を社会へ発信する努力を行っております。

予期せぬ自然災害や人道上的緊急事態が、会員の皆さまの毎日の生活や協会の活動に様々な影響を与えることも予想されます。このような状況への対応には、会員の皆さま、役員一同が力を合わせることが何より大切と考えます。様々な課題を抱えた協会ですが、2024年度の協会への会員の皆さまのご支援を改めてお願いする次第です。

2023 年度事業報告(一覧)
(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

1. 特定非営利活動に関わる事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	延べ人数
中途失聴者、難聴者の社会参加のための調査・研究、施策のための提案事業	人工内耳に関する講座	2024 年 2 月 3 日	ワイム貸会議室立川	76
	福祉対策・コミュニケーション関連部活動	月 1 回程度	東京都障害者福祉会館 他	388
中途失聴者、難聴者のコミュニケーションの充実のための社会教育事業	聴覚障害者コミュニケーション教室	年 6 回	YouTube 限定配信	550
	実践読話講習会	年 17 回	東京都障害者福祉会館	121
	地域コミュニケーション啓発講座	年 2 回	東京都障害者福祉会館 他	37
	地域福祉相談支援ゼミ(手話講習会応用クラス三田)	年 20 回	東京都障害者福祉会館	482
	手話講習会応用クラス多摩	年 20 回	東京都多摩障害者スポーツセンター	497
	例会	年 12 回	東京都障害者福祉会館 他	404
	高齢者対象「手を動かそう」	年 12 回	東京都障害者福祉会館	129
	講師等派遣	中途失聴・難聴者向け手話指導者養成コース・中野区中途失聴・難聴者の会・世田谷区中途失聴・難聴者の会「はこべ」・品川中途失聴・難聴者「ひばりの会」・国立障害者リハビリテーションセンター学院手話通訳士学科・船橋市福祉サービス公社 他		34
中途失聴者、難聴者の諸問題の解決のための情報収集・提供事業及び他団体との連絡調整	会報「協会ニュース」発行	月 1 回	当会事務所 他	159
	協会ホームページ運営	随時更新	当会事務所 他	36
	刊行物・耳マーク仕入れ	随時	当会事務所	18
	第 35 回東京都中途失聴・難聴者の集い	2024 年 1 月 14 日	東京たま未来メッセ	312
中途失聴者・難聴者に係る相談・支援事業	高齢難聴者生きがい講座	年 9 回	東京都障害者福祉会館	137
	中途失聴者・難聴者相談事業	随時	当会事務所	25
	中途失聴者・難聴者地域支援事業	随時	東京都障害者福祉会館 他	119
中途失聴者、難聴者の文化、芸術、スポーツの振興を図る事業	文化系活動	月 1～2 回	東京都障害者福祉会館 他	1766

2. その他の事業

自動販売機による委託販売(8 か所 9 台)

東京都庁第一本庁 4 階南側・東京都第五建設事務所・東京都七生福祉園・東京しごと財団(2 台)・東京都多摩職業能力開発センター八王子校・東京都西多摩保健所・東京都中川水再生センター・東京都中央卸売市場食肉市場

2023 年度事業報告

事務局

1. 体制

事務局長：宇田川芳江 職員：石川千鶴・石田豊子・千羽荘一・松枝朋美

2. 活動報告

- ・理事会 4/22、5/27、6/24、7/22、8/26、9/23、10/28、11/18、12/23、1/27、2/24、3/23
- ・東京都福祉局との懇談会 7/6 (21 名)
- ・人工内耳に関する講座 2/3 (76 名)
- ・「字幕付胃検診」受付 10/7 (17 名)
- ・協会ニュース発送 毎月第 2 金曜日 12 回
- ・「第 53 回耳の日記念文化祭」参加 2/24・25
- ・事務局会議 4/17、5/15、6/19、7/31、10/16、11/20、12/18、1/22、2/26、3/18
- ・例会 毎月第 4 日曜日 12 回

実施日	内容	参加者数
4 月 23 日	2023 年度事業説明会	17
5 月 28 日	通常総会	382 (出席 46)
6 月 25 日	乙川智子氏特別講演会「手話指導、手話通訳の経験から」	35
7 月 23 日	ボイストレーニング & 私がつたえたいこと	20
8 月 6 日	乙川智子氏特別講演会「手話指導、手話通訳の経験から」	67
8 月 27 日	要約筆記者の皆さんとずっと話してみたいな会	54
9 月 24 日	身につけよう防災知識	21
10 月 22 日	新入会員説明会 & 交流会	42
12 月 10 日	ボイストレーニング & 私がつたえたいこと	22
12 月 24 日	クリスマス会	38
1 月 14 日	第 35 回東京都中途失聴・難聴者の集い	312
3 月 24 日	聞こえにくいこと、もっと話しませんか	20

・研修協力

- ① 東京純心女子中学校 総合学習「NPO 探検隊」インタビュー (8/5)
- ② 東京都登録要約筆記者の会 (登要会) 研修会 (3/19)

・他団体との交流

- ① 全国要約筆記問題研究会 (全要研) 東京支部とのオンライン懇談会 (9/30)
- ② 全国要約筆記問題研究会 (全要研) 東京支部減災支援隊本所防災館見学会 (2/18)

・その他

- ① 東京都デジタルサービス局デジタルサービス推進部主催聴覚障害者向けスマートフォン体験会 (11/1、11/29)

事業委員会

1. 体制

委員長：宇田川芳江 委員：石川千鶴・小川光彦・前川信・丸山由美子

2. 活動報告

委員会開催 4/13、7/25*、10/21*、11/16*、12/19*、1/10*、3/5*

選考委員会 12/16*

*印は、オンライン開催

3. 事業報告

I 助成事業

(1) 東京都福祉保健財団助成事業

- ① 実践読話講習会
- ② 高齢難聴者生きがい講座

- ③地域福祉相談ゼミ〔手話講習会応用クラス三田〕
- ④地域コミュニケーション啓発講座(運営担当:組織部)
- (2)森村豊明会助成事業
 - ①読話指導者養成講座(2023年4月終了)(運営担当:コミュニケーション委員会)
- II 協会受託事業の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。
 - (1)聴覚障害者コミュニケーション教室(東京都教育委員会受託事業)
- III 協会事業の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。
 - (1)手話講習会応用クラス多摩
 - (2)高齢者対象「手を動かそう」
 - 4/10(8名)、5/9(12名)、6/12(14名)、7/10(13名)、8/14(10名)、9/11(9名)、10/9(10名)、11/13(9名)、12/11(11名)、1/8(9名)、2/12(12名)、3/11(12名)
 - (3)著作権勉強会(8/6)
- IV 各種講習会・講座への講師・スタッフ派遣の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。
 - (1)東京都中途失聴・難聴者手話講習会(三田・多摩)
 - (2)東京都読話講習会
 - (3)東京都手話通訳等養成講習会(中途失聴・難聴者対象手話指導者養成コース)
 - (4)講師等派遣事業
 - ・東京都手話通訳者等養成講習会(手話指導クラスⅠ)(6/21)
 - ・中野区中途失聴・難聴者の会(9/6)
 - ・世田谷区中途失聴・難聴者の会「はこべ」(7/16、9/17)
 - ・品川中途失聴・難聴者「ひばりの会」(10/7、2/10)
 - ・船橋市福祉サービス公社(10/23)
 - ・国立障害者リハビリテーションセンター学院手話通訳士学科(9/19、10/10、10/24、10/31、11/21)
 - ・品川区心身障害者福祉会館(11/10、1/12、1/19、1/26、2/2、2/9、2/16)
 - ・大田区立障がい者総合サポートセンター(12/6、1/20)
 - ・TOKYOみみカレッジ 2023(12/27)
 - ・中央区要約筆記啓発講座(1/16、1/23、1/30)
 - ・八王子中途失聴・難聴者友の会(1/24)
 - ・江東区ボランティア・地域貢献活動センター(1/29)
 - ・横浜ラポール(2/6)
 - ・中途失聴・難聴者「つばさの会」府中(2/10)
 - ・東村山市社会福祉協議会(2/9、2/16、3/1)

広報委員会

1. 体制

委員長:石川千鶴 委員:小島敦子・村田美和・安井彩乃 オブザーバー:皆川みさ子

事務局:宇田川芳江

2. 活動内容

協会の広報を担う部署

会報「協会ニュース」と協会ホームページのあり方を検討していく。

3. 活動報告

(1)委員会開催

4/13、5/11、6/8、7/26、9/12、10/8、11/14、12/12、1/9、2/13、3/12 全 11 回 いずれもオンラインで開催。

(2)協会ホームページ

バリアフリー映画情報(MASC)へのリンク、体験談記事の整理、地域の会と手話講習会など情報の充実と整理を図った。

Facebook(フェイスブック)とホームページの連携を強化した。

ホームページリニューアルは、依頼先の事情で実施が困難になったため、予定を白紙に戻した。今後は可能な範囲でレイアウトを整えていく方針を決定した。

(3)会報「協会ニュース」

会報編集部と編集作業の見直しを進めた。

学習会に参加するなどして、著作権や肖像権保護の知識を深め編集作業にあたった。

パソコン操作が苦手な会員でも協会ホームページから情報が得られるように、主な記事の閲覧手順を掲載した。

印刷会社の受注状況が不安定なため、代替印刷会社の候補を検討することにした。

■ 防災委員会

1. 体制

委員長：新谷友良 委員：有馬富江・生田真弓・前川信・米倉光代

2. 活動概要

協会定款第4条「災害救援活動」、第5条「緊急・災害時における聴覚障害者の救助・救援に関する事業」の具体化の活動を行った。

3. 活動詳細

①2024年1月21日組織部と共催で地域コミュニケーション啓発講座「スマホで災害に備えよう」を実施した。

②協会10月例会で、2023年度の防災委員会の活動を紹介した。

③2022年度に試行を始めていた「中難協防災LINE公式アカウント」の正式運用を4月より開始した。

④会報「協会ニュース」に防災委員会の活動を継続的に掲載した。(5月、7月、9月)

4. 活動報告

(1)委員会開催 4/26、5/24、6/28、7/26、8/30、9/27、10/25、12/27、2/28、3/27 いずれもオンラインで開催。
11月、1月は、メールでの意見交換とした。

■ コミュニケーション委員会

1. 体制

委員長：皆川みさ子 会計：小谷野依久 委員：石川千鶴・安井彩乃・渡辺江美

2. 活動報告

(1)委員会開催 4/19、5/17(メール審議)、6/21、7/19、9/20、11/15、12/20、1/19、2/21、3/20
いずれもオンラインで開催。

(2)森村豊明会助成事業 読話指導者養成講座の企画・運営(協力：事業委員会)

・4/1講座、4/8反省会、6月報告書提出

(3)「要約筆記を使って伝えるときに」注意事項のまとめ

(4)オンライン要約筆記についての課題整理

(5)協会例会協力 3月例会「聞こえにくいこと、もっとはなしませんか」

■ 要約筆記部

1. 体制

部長：渡辺江美 会計：小谷野依久 部員：稲井泰子・村田美和

2. 活動報告 場所：東京都障害者福祉会館

実施日	内容	参加者数	実施日	内容	参加者数
4月12日*	部会	4	10月3日*	部会	4
5月16日*	部会	3	12月5日*	部会	3
6月12日*	部会	4	2月6日*	部会	4
7月10日*	部会	3	3月5日*	部会	4
8月7日	部会	4	3月20日	登要会との交流会	33
8月27日	協会例会担当	59			

*印はオンライン開催

福祉対策部

1. 体制

部長：小谷野依久 副部長：田村玲子渡辺究

部員：青木典子・稲井泰子・小海淳史・鈴木雅弘・西山萌・橋爪由利・南由美子

オブザーバー：小川光彦

2. 活動報告

実施日	内容	参加者数	実施日	内容	参加者数
4月20日*	部会	6	9月25日*	ゆるプチ学習会	20
5月11日*	ゆるプチ学習会	25	10月19日*	ゆるプチ学習会	14
5月24日	体験会 & 部会	14	11月17日*	ゆるプチ学習会	11
6月15日*	ゆるプチ学習会	20	12月22日	ゆるプチ学習会	34
6月20日*	部会	5	1月28日	ゆるプチ学習会	41
7月21日*	ゆるプチ学習会	26	1月28日	部会	6
8月18日*	部会	3	2月27日*	ゆるプチ学習会	39
8月18日*	部会	6	3月29日*	部会	7

5月24日、1月28日は東京都障害者福祉会館

12月22日、1月28日は東京都障害者福祉会館とオンラインのハイブリット開催 *印はオンライン開催

手話対策部

1. 体制

部長：石川千鶴 副部長：掛水泉 会計：和田すが

部員：芦川君代・荒居信子・井桁洋子・入野雅子・内山伸子・大堀亮子・柿崎栄子・河合優子・河原日向子・神尾優子・北島恵子・国吉玲子・久保寺美華・小林道子・小谷田路代・佐々木百合子・志村瞳・

副島香絵・地引千恵子・長沼知子・中野徳代・中村麻子・中村貴子・中村みずほ・新実文・原島美江・

藤本澄子・前川信・峯元弘子・森利恵子・屋代智子・安井彩乃・山田恵美子 36名

2. 活動報告 場所：東京都障害者福祉会館

実施日	内容	参加者数	実施日	内容	参加者数
4月10日*1	部会	19	10月29日	ミニ手話講座(三田)	33
6月12日*1	部会	18	11月13日*2	部会	18
6月25日	協会例会担当	53	12月11日*1	部会	16
7月2日	スタッフ研修及び部会	19	2月18日	ミニ手話講座(多摩)	34
9月11日*1	部会	19	2月19日*2	部会	16
10月16日*2	部会	17	3月11日*1	部会	16

*1は東京都障害者福祉会館とオンライン、*2は東京都多摩障害者スポーツセンターとオンラインのハイブリッド開催

2月18日は東京都多摩障害者スポーツセンター

会報編集部

1. 体制

部長：小島敦子 会計：山田恵美子 部員：入江友紀子・岩崎幣介・菅波尚子・滝沢佳子・橋爪由利

オブザーバー：皆川みさ子

2. 活動報告

(1) 会報「協会ニュース」の編集

①編集会議 頁構成・投稿原稿校正・作業スケジュール・特集・不足原稿などの確認、企画についての話し合い。

・オンライン会議 4/9、5/7、6/11、7/8、8/12、9/9、10/14、11/11、12/9、1/13、2/10、3/9 全12回

- ②初校校正 原稿の確認、修正、レイアウトなどの最終確認作業。 場所:くにたち公民館 他
4/20、5/25、6/29、7/27、8/23、9/27、11/22、12/21、1/24、2/21、3/27 全 11 回
- ③取材 西武鉄道新宿駅 7/19

組織部

1. 体制

部長:前川信 副部長:井桁洋子・丸山由美子 会計:青木房子
部員:有馬富江・岩崎幣介・岡田修・上村直美・柴田千代子・中村貴子

2. 活動報告 場所:東京都障害者福祉会館

実施日	内容	参加者数	実施日	内容	参加者数
4月8日	部会	9	10月14日	月部会	8
4月28日	ネットワークニュース126号発行		10月22日	協会例会担当 「新入会員説明&交流会」	51
5月13日	部会	8	10月27日	ネットワークニュース128号発行	
6月6日*	オンライン事前勉強会	15	11月11日	部会	8
6月10日	部会	9	12月9日	部会	8
7月9日	部会	9	1月13日	部会	中止
7月9日	地域コミュニケーションコミ啓発講座「地域懇談会」	25	1月21日	地域コミュニケーション啓発講座 「スマホで災害に備えよう」	32
7月28日	ネットワークニュース127号発行		1月26日	ネットワークニュース129号発行	
8月5日	部会	9	2月10日	部会	7
9月9日	部会	10	3月9日	部会	6

1月21日は立川たましんRISURUホール

*印はオンライン開催

3. その他

- ・公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成事業
(一般社団法人東京馬主協会施設整備助成事業 ヒアリンググループ受信機)

実年部

部長不在が続き活動が停滞しているため、理事・事務局が中心になり適任者の部長就任を働きかけた。
年度内の新部長就任は実現しなかった。

女性部

1. 体制

部長:明田美奈子 会計:今井初恵 事務報告:高田香苗
部員:今井節子・大江千枝・小須田希海・佐藤緑・寺田由紀子・峯元弘子・渡辺江美

2. 活動報告 場所:東京都障害者福祉会館

実施日	内容	参加者数	実施日	内容	参加者数
4月6日	部会	5	9月24日	協会例会担当	27
6月1日	部会	2	11月2日	部会	4
6月3日	6月企画「講演会 那須映里氏」	46	12月2日	12月企画「クリスマスリース作り」	10
7月2日	全難聴女性部総会手伝い	6	2月1日	部会	5
7月24日	生きがい講座協力	4	2月3日	2月企画「折り紙を楽しもう」	9
9月7日	部会	4	3月7日	部会	5

7月2日は大田区産業プラザ PiO

【手話サークル 三田昼】

1. 体制 代表:中村麻子 副代表:石川徳衛 会計:川村恵子 総務:長尾征子・清水智恵子
サポートスタッフ:加藤道子・金森滯子・山本慶子・吉田桂子 会員数:35 名
2. 活動日時 毎月第 2 金曜日・第 2 土曜日 13 時 30 分～15 時 30 分
毎月第 4 土曜日 10 時～11 時 30 分
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 五十嵐郁子氏
5. 活動報告 ・手話学習は毎月 2 回、24 回開催した。
・12 月の第 4 土曜日は、クリスマス交流会を行った。(内容:五十嵐郁子講師考案の手話ゲーム・役員による手話ビンゴ大会・じゃんけん大会)

【手話サークル 三田夜】

1. 体制 代表:笹本直子 副代表:岡田修 会計:山本慶子 会員数:20 名
2. 活動日時 毎月第 1・第 3 土曜日 18 時～20 時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 宮本正明氏
5. 活動報告 手話学習会 年間 19 回実施
会員交流のイベント(浅草散策 5 月、納涼会、忘年会、新年会)を開催し、会員の親睦を図った。

【多摩手話サークル】

1. 体制 代表:牧本恵美子 副代表:志村瞳 会計:秋山孝子 会員数:15 名
2. 活動日時 毎月第 2 木曜日 13 時 30 分～15 時 30 分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター集会室 AB
4. 講師 永井邦子氏
5. 活動報告 ・講師学習日:4/13、5/11、6/1、7/13、9/14、10/12、11/9、12/14、1/11、2/8
・その他:7/27(交流会)、3/14(反省会)
・講師の課題にそって楽しく学習した。

【多摩火曜手話サークル】

1. 体制 代表:小島敦子 会計:岩下敏美 総務:大堀亮子・洪木靖子 庶務:新井京子 会員数:22 名
2. 活動日時 毎月第 1・第 3 火曜日 13 時 30 分～15 時 30 分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター・立川柴崎学習館
4. 講師 真藤千枝氏 本橋由美子氏(相談役)
5. 活動報告 ・講師学習会:
真藤講師学習 4/18、5/16、6/6、7/4、9/5、10/3、11/7、12/5、1/16、3/5 計 10 回
本橋講師学習 6/20、9/19、10/17、11/21、12/20 計 5 回
・その他:4/4(総会)、12/19(クリスマス会)

【三田絵手紙サークル】

1. 体制 代表:堀川すみれ 副代表:渡辺美恵子 会計:宮脇百合子 会員数:11 名
2. 活動日時 毎月第 2 木曜日 13 時 30 分～16 時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館 児童室B
4. 講師 石井幸子氏
5. 活動報告 毎月講師の課題に沿って進む。季節に合わせてハガキに描くだけでなく、簡単にできる置物などを作った。毎月違う課題で好評。また今期は故小池邦夫を偲ぶ会に、講師共に会員も参加。絵手紙の興味がより一層深まり、仲間同士の絆も深まった。

【生け花教室】

1. 体制 代表:飯野堯子 副代表:中村久実子 会計:高山美穂 会員数:6 名
2. 活動日時 毎月第 1 水曜日
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 飯野理堯氏
5. 活動報告 代表が 7 月「古流いけばな展」に出展し拝見でき勉強になりました。また会員は 1 月 14 日開催の東京都中途失聴・難聴者の集いに出展させていただき大きな励みになりました。

【昼の読話サークル】

1. 体制 代表:須合誠子 会計:岩淵悠子 副会計:清水智恵子 会員数:11 名
2. 活動日時 毎月第 1・第 4 水曜日 (4 月～9 月)14 時～16 時 (10 月～3 月)13 時 30 分～15 時 30 分
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. アドバイザー 三宅初穂氏
5. 活動報告 ・アドバイザー学習会:4/5(9)、5/24(11)、6/7(11)、7/5(11)、8/2(9)、9/6(10)、10/4(10)、11/1(12)、12/6(10)、1/24(10)、2/28(9)、3/6(10)
・自主学習会・イベント:4/26(13)、6/28(8)、7/26(6)、9/27(6)、10/25(7)、11/22(15)、3/27(9)
*()内は参加者数

【多摩月曜手話サークル】

1. 体制 代表:石川千鶴 副代表:山田恵美子 会計:芦川君代 会員数:12 名
2. 活動日時 毎月 2 回 月曜日 13 時 30 分～15 時 30 分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター・オンライン
4. 講師 田中陽子氏
5. 活動報告 ・講師指導:5/29、7/31、10/30、12/18、2/19
・自主学習:4/3、4/24(総会)、5/8、6/5、6/26、7/3、8/28、9/4、9/25、10/2、10/30、11/6、11/27、12/4、1/29、2/5、3/4、3/25

【多摩手話コーラス「てと〜て」】

1. 体制 代表:牛窪睦 副代表:滝沢佳子 会員数:13 名
2. 活動日時 毎月第 1・第 3 木曜日 13 時 30 分～15 時 30 分
3. 活動場所 小金井市公民館・東京都多摩障害者スポーツセンター
4. 活動報告 4/6、4/20、5/18、6/1、6/15、7/6、7/20、8/3、8/17、9/7、9/21、10/5、10/26、11/2、11/16、12/7、12/21、1/11、1/18、2/1、2/15、3/7